

様式第5号（第2条関係）

平成22年4月27日

大崎市議会議長 三神祐司様

会派等名 公明党

代表者名 代表 山田和明



平成22年度政務調査費収支報告について

大崎市議会政務調査費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、別紙のとおり政務調査費収支報告書を提出します。



(別紙)

平成22年度政務調査費収支報告書

会派等名 公明党

1 収入

政務調査費 160,000円

2 支出

科 目	金 額(円)	備 考
研 究 研 修 費		
調 査 旅 費	104,322	静岡県伊東市・神奈川県小田原市・ 東京都稲城市の視察旅費
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費	55,678	会派広報誌の印刷代
公 聴 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
そ の 他 の 経 費		
合 計	160,000	

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額 0円

政務調査活動報告書

会派名 公明党

1、調査研修事業

(1) 視察・研修日

平成22年11月9日から11月11日まで

2、視察地

(1) 静岡県伊東市、神奈川県小原市

(2) 神奈川県 彫刻の森

(3) 東京都稲城市

3、視察者名

山田 和明

横山 悦子

4、視察・研修内容

(1) 伊東市 病院建設手法について

市立伊東市民病院は国立病院の移譲をうけ、現在公益社団法人地域医療協議会に運営を委託している。今回老朽化・狭隘化した病院を高度化した医療・耐震性の向上を図り新病院建設をすることとなった。診療科目は17科、250床規模とし、平成20年から工事着手し、平成25年4月開院の予定で進められている。

本市でも病院建設議論の最中であり、参考になる事例が数多く見られた

(2) 神奈川県小原市 事業仕分けについて

小原市では平成21年10月、行政改革の一手法として『行政事業仕分け』が実施された。外部有識者(構想日本)と市民とで構成した「仕分け人」が、市の仕事を外部の目線によって点検し、「不要」「民間が実施」「市で行うが改善が必要」「現行どおり」の5つに仕分ける作業を行った。

本市も事業仕分けの議論があり、参考にさせていただいた

(3) 神奈川県彫刻の森 観光施設の充実策

大都市圏を抱える箱根地域は特に努力を重ねなくても、観光客の減少は無いものと考えていた。現地での説明を受けるに、交通のアクセスの良さから、日帰りの観光客の落ち込みは少ないものの、宿泊客は減少の一途であり、歯止めがかからないで、大変苦戦しているとの説明であった。

大崎も日本有数の温泉を抱えており、更なる観光客の誘致に勤めるべきと認識を深めた

(4) 東京都稲城市 ママ保育 地域ブランドの確立

待機児童対策はどこの行政でも抱える重要な問題の一つである。

稲城市は従来の待機児童対策を一步進め「家庭福祉員」保育ママ制度を打ち出した。大崎市でもこの制度について検討を進めていたが、検討で終わっていた。稲城市の子育て支援策は大変手厚い制度であり、人口増加に対応して保育所建設が追いつかない現状での、それに変わる有効な手段と思われた

地域ブランドの確立について

平成 18 年 11 月から地域ブランド「稲城の梨」を特許庁から登録認定を受けた。稲城市の農業生産額 12 億 7 千万円のうち約 66% 8 億 4 千万が特産の梨で占められている。都市農業経営は付加価値をつけ消費地に近い特性を生かした農業経営であるが、ブランドの確立も大きな付加価値に繋がっている。いかにブランド力を高めるか、参考になる説明であった

5、 広報誌の作成

実施日 平成 23 年 3 月 15 日

発行部数 2000 部

事業内容 議会報告会の開催時の参考資料
各戸配布